

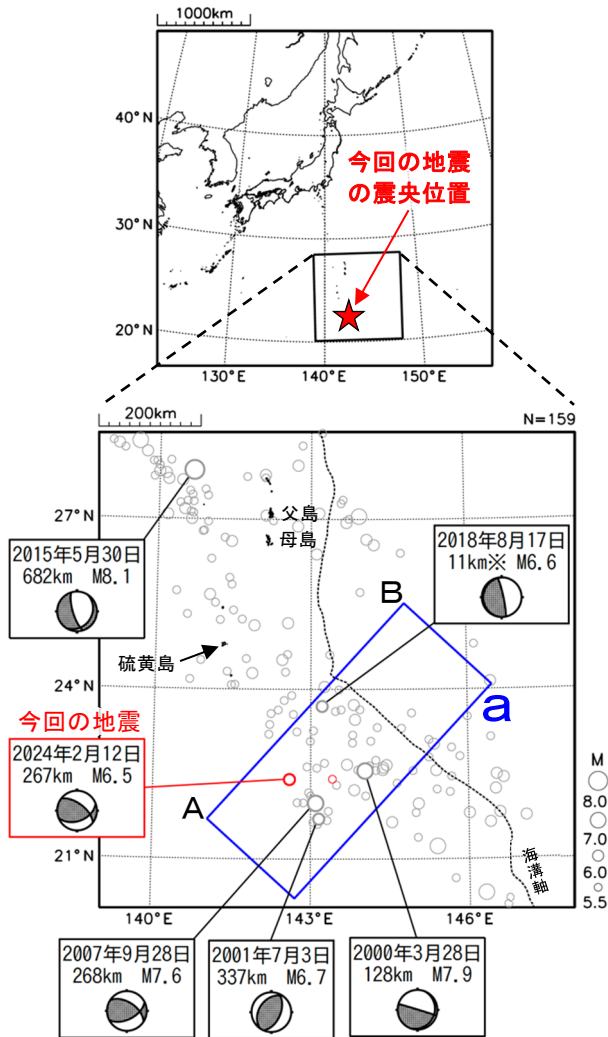
2月12日 硫黄島近海の地震

震央分布図

(2000年1月1日～2024年2月29日、
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)

2024年2月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

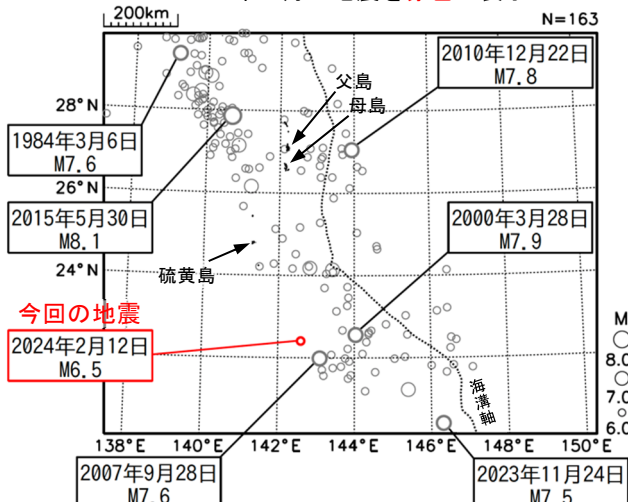


※深さはCMT解による。

震央分布図

(1919年1月1日～2024年2月29日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)

2024年2月の地震を赤色で表示

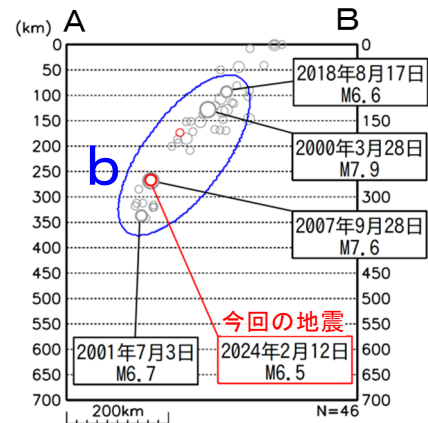


2024年2月12日20時19分に硫黄島近海の深さ267kmでM6.5の地震（最大震度1）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は太平洋プレートが沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

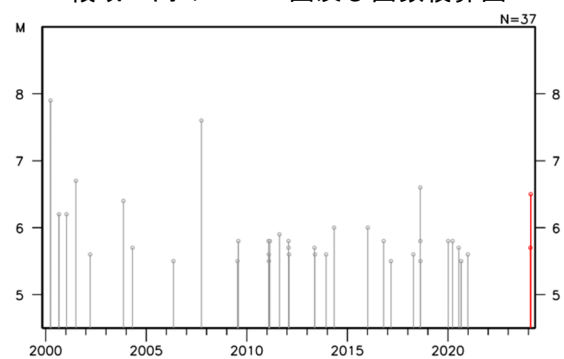
2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.5以上の地震が時々発生している。2015年5月30日には小笠原諸島西方沖の深さ682kmでM8.1の地震（最大震度5強）が発生し、関東地方で軽傷者8人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図



左図の領域内のM-T図

